2026年10月3日の記事

【活動日誌340】2026年度学芸員課程実務実習：標本の作成

9月から後期の授業が始まり、大学も賑やかさを取り戻しています。学芸員課程の学内実習（実務実習）も再開し、先日は「自然史資料の収集・資料化」をテーマとした実習の1回目が行われました。

この実習では、本学で生涯学習概論を担当されている馬谷原先生にご指導いただき、植物標本（さく葉標本）と昆虫標本の作り方を学びます。実習当日、学生たちは大学の敷地内に生えている植物を採取し、標本として適切な形になるように押し広げる作業を行いました。馬谷原先生が事前に採取されたチョウ類の標本をご提供いただき、展翅板を使って形を整える作業にも取り組みました。

馬谷原先生による2回目の実習では、標本作成作業の続きと作成した標本の情報整理を行う予定です。2回目の様子もFacebookにてご紹介いたしますので、どうぞお楽しみに。

（学芸員 石井）

#博物館実習 #学芸員課程 #日本獣医生命科学大学 #日獣大 #博物館

■【活動日誌320】学芸員課程受講生による実務実習が始まりました
https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02THpYRtE6ymmvgwpMVSVvpxzPoF8zYJ1nRxsTfYiRrs712cVEQZNq19CYA5Qf4mcul
前期に行った奥田先生による実習はこちらで紹介しています。

2026年10月3日の記事









① 学内で植物を採集する様子
② 講義の様子
③ 採集した植物をさく葉標本にする様子
④ 昆虫の展翅の様子

2026年10月7日の記事

【活動日誌341】骨格標本の整理作業を進めました

以前も紹介したことがありますが、当館では、本学の学生を中心に、ボランティアで参加してくださっているみなさんの協力を得て、当館の所蔵する骨格標本の整理作業を進めています。先日は、本学の野生生物研究会のメンバーの協力を得て、整理作業を行いました。

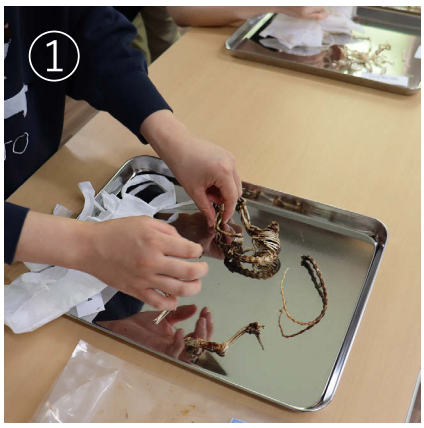
この日に作業したのは、主にマーモセットの仲間の骨格標本でした。コモンマーモセットやピグミーマーモセットのほか、クロミミマーモセットやシルバーマーモセットなども含まれていました。

参加してくれた学生さんは、小さな骨を一つずつ確認し、何の骨か分からない骨については他の参加者に聞いたり、学芸員に確認したりしながら、標本にどの骨があるかがわかるように順番に並べてくれました。上顎骨や下顎骨から抜けてしまった歯があるものは、骨と分けて頭蓋骨と一緒に薄葉紙で包みました。

情報整理を進める必要のある骨はまだまだたくさんありますので、今後も学生さんたちに協力いただき、この作業を続けていきたいと思います。

（学芸員 廣瀬）

＃日本獣医生命科学大学 ＃日獣大 ＃博物館 ＃骨格標本







① 袋に入っている骨を確認している様子。カツオブシムシを使って標本にしたものについては、椎骨や肋骨が連結した状態のままのものがあります。

② バラバラになっている骨がなんの骨なのかわからないものについては、学生さんからの質問を受けて学芸員が解説をしています。中には、破損した骨の一部や、奇形と思われる骨なども含まれていて、不明のままとなってしまう場合もあります。

③ 骨の並べ方は人それぞれで個性がありますが、骨が揃っているかがわかるように並べてもらっています。

2026年10月10日の記事

【活動日誌342】骨格標本の貸し出しを行いました

当館では、日本の里山に生息する野生動物をはじめ、さまざまな動物の骨格標本を収蔵しています。これらの標本の活用の一環として、学外への骨格標本の貸し出しを行いました。

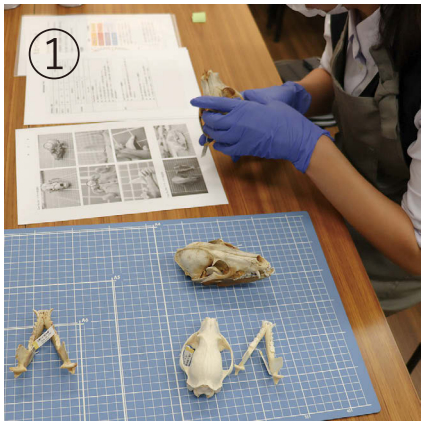
今回の貸出先は英明フロンティア中学校・高等学校です。本学の入試課を通じて、同校の先生から、学校の展示スペースを活用して動物の骨を紹介したいとのご相談をいただきました。先生との打ち合わせの内容を踏まえ、タヌキ・アライグマ・ハクビシンの頭蓋骨をお貸しすることにしました。

英明フロンティア中学校・高等学校での展示は本日より始まる予定です。後日、展示の様子を撮影した写真をお送りいただくことになっています。写真が届きましたら、当館のFacebookでも紹介したいと思います。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #日獣大 #博物館 #骨格標本

■英明フロンティア中学校・高等学校トップページ
https://eimei-frontier.ed.jp/index.html





① 標本チェックの様子。貸し出す標本に破損がないか、1点ずつ確認しました。
② 破損のないようにしっかりと梱包してお渡ししました。

2026年10月14日の記事

【活動日誌343】野生生物研究会と連携した展示活動 その1

先日当館の骨格標本の整理作業について紹介しましたが、その際に協力してくれている本学のサークル野生生物研究会は、例年本学の大学祭で展示活動を行っています。昨年に引き続き今年の大学祭でも、博物館の所蔵する骨格標本を貸し出して展示をすることになりました。

去年は、高尾山で行っているムササビの観察会にちなんで、ムササビの全身骨格を展示することとなりましたが、今年はまた別の展示企画を行うこととなりました。先日は学芸員とともにサークルのメンバーで展示する標本を選定しました。続いての作業は、昨年と同様に骨に残っている肉片や腱などのクリーニングです。博物館ではクリーニングするための場所と道具等を用意する形でサポートし、クリーニングの作業は学生たちに自主的に進めてもらいました。

大学祭までしばらく展示の準備作業が続くので、引き続き準備の様子もご報告します。何の骨をどんな風に展示するかは、例によって大学祭当日のお楽しみということで、完成した展示の様子は大学祭の時に改めてご紹介したいと思います。

（学芸員 廣瀬）

#骨格標本 #日本獣医生命科学大学 #日獣大 #博物館 #大学祭

■【活動報告278】野生生物研究会の展示
https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0VykHZcNRsFEpLnGzbgY2PBGLPfAR7qHQWiceXyX3rzw9LrULdJqk12eYajd6c1ZLl
昨年度の野生生物研究会の展示の様子はこちらでご紹介しています。

■野生生物研究会
https://www.nvlu.ac.jp/campuslife/008/001.html/#C202

■野生生物研究会インスタグラム
https://www.instagram.com/nvlu_yasei_2026

2026年10月14日の記事







① 液浸標本の候補選びの様子
② 骨格標本のクリーニングの様子
③ クリーニング途中の骨。展示の際に破損や紛失の恐れのある舌骨は取り外して別に保管しました。

2026年10月21日の記事

【活動日誌344】博物館展示論の授業にて当館が活用されました

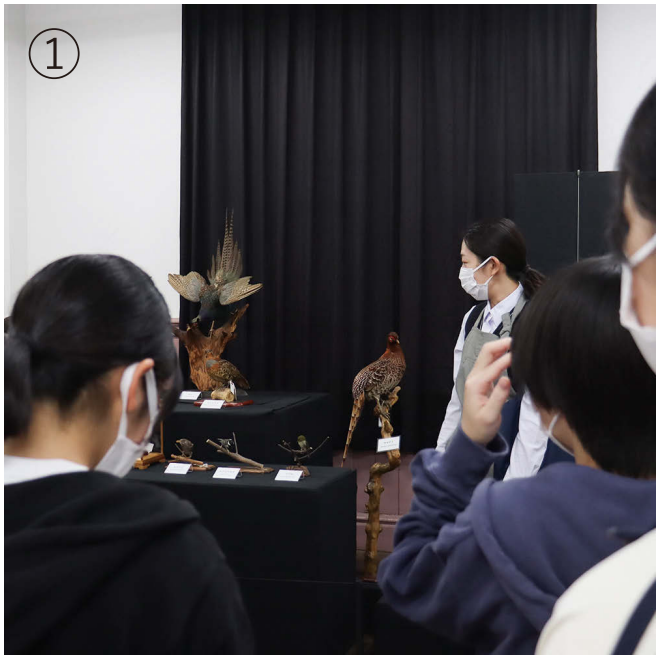
当館は本学で学芸員課程を履修する学生の教育の場としての役割を担っており、履修生はさまざまな授業や実習で当館の見学を行います。先日は、博物館展示論の一環として、展示計画の立て方や展示の工夫について学ぶための見学会を実施しました。

見学会では、自然系展示室を会場に、学芸員が常設展示を設営するうえで行った工夫や企画展ができるまでの流れを紹介しました。当館では、剥製をケースに入れない「露出展示」を採用し、来館者がより身近に動物の姿を観察できるように工夫しています。また、剥製を置いている展示台は、学内で使われなくなった机や教壇を再利用したものです。学生たちは、普段見ている展示の裏側にある工夫について、興味深そうに聞いていました。

後期の授業では、博物館教育論での見学会も予定しています。次回の見学会の様子もfacebookにて紹介したいと思います。

（学芸員 石井）

＃日本獣医生命科学大学 ＃日獣大 ＃博物館 ＃学芸員課程





① 解説の様子

② 野鳥を展示している台。手前の台の中には折りたたみの長机が、奥の台の中には教卓が入っています。

2026年10月24日の記事

【活動日誌345】大学祭に向けた準備を進めています

10月30日（金）・10月31日（土）・11月1日（日）の3日間、本学の大学祭（第9回医獣祭）が開催されます。当館では、医獣祭にあわせて特別開館を実施します。

現在当館では、一号棟展示室にてミニ展示「日獣大病理の部屋」を開催中です。本ミニ展示では、本学の病理学に関連した研究を紹介しており、3つの研究室の研究内容を紹介するほか、貴重な液浸標本などを展示しています。大学祭では、展示室内に新たに本学における病理学教育を紹介するパネルを展示する予定となっており、現在パネルの作成作業を進めています。また、学内の先生から新たに鳩痘（きゅうとう：pigeonpox）の標本をご提供いただき、大学祭にあわせて展示を開始する予定です。

大学祭期間中の10月31日（土）と11月1日（日）には、学芸員が登録有形文化財（建造物）である一号棟の見どころを解説する特別ツアーも実施する予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

なお、大学祭期間中は特別開館ということで通常と開館時間が異なります。特別開館の詳細や特別解説ツアーの参加方法などは、WEBページ「【お知らせ】特別開館&特別解説ツアーを実施します（10月30日～ 11月1日）」よりご確認ください。

（学芸員 石井）

#日本獣医生命科学大学 #日獣大 #博物館 #大学祭 #オープンキャンパス

■【お知らせ】特別開館&特別解説ツアーを実施します（10月30日～ 11月1日）
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20261005-01.html/
特別開館の詳細情報はこちら

■【お知らせ】ミニ展示「日獣大病理の部屋」開催中
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20260910-01.html/
ミニ展示の詳細はこちら

2026年10月24日の記事







① ミニ展示の様子。写真右端の顕微鏡にて鳩痘の病理組織標本を展示する予定です。

② 昨年の大学祭の様子。自然系展示室の塗り絵クイズは小さなお子様にも大人気です。

③ 昨年の特別解説ツアーの様子。

2026年10月28日の記事

【活動日誌346】野生生物研究会と連携した展示活動 その2

大学祭も直前となり、本学のサークル野生生物研究会の展示準備が進んでいます。前回は展示する予定の骨に残っている肉片や腱などのクリーニングの作業の様子をご報告しましたが、その後もクリーニング作業は続き、頭の骨の中に残っているわずかな汚れなども取り除いて、とてもきれいになりました。

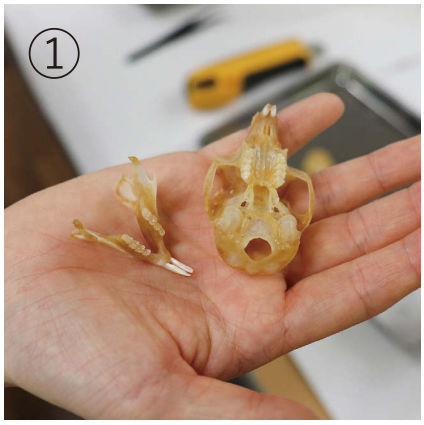
骨以外にも対象の動物の毛皮や液浸標本も展示する予定で、どんな風に展示すれば大学祭に来てくれる一般のお客様に興味を持ってみてもらえるか、どうやって紹介するかなどについても検討を進めています。

大学祭ではB棟の教室にて展示を行う予定となっていますので、大学祭にご来場予定のみなさまには、博物館の自由見学と合わせてぜひ、野生生物研究会の展示もご覧いただきたいと思います。

（学芸員 廣瀬）

#骨格標本 #日本獣医生命科学大学 #日獣大 #博物館 #大学祭

■【活動報告343】野生生物研究会と連携した展示活動 その1
https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid04h97X955ymvMwEgPcoHVivgjE7BsjgMSRMt8LhH51rxgfm41MKLhufnzM3NnxjxTl
野生生物研究会の展示の準備を紹介した前回の記事はこちら。







① きれいになった頭蓋骨。クリーニングする前との違いは歴然です。
② 偶然、展示準備作業を進めている日に他大学の学生さんが博物館に来てくれることになったため、野生生物研究会のメンバーが展示予定の標本を紹介するとともに、意見をいただきました。
③ 展示する液浸標本について、ケースの中での固定の仕方を相談する様子。

2026年10月31日の記事

【活動日誌347】特別開館＆特別解説ツアー実施中！

昨日から本学の大学祭である医獣祭が開催されています。博物館では、展示室を公開するとともに、本日と明日の2日間限定で、活動拠点である一号棟の特別解説ツアーを開催しています。

一号棟は明治時代に麻布区（現 港区）に建てられた区役所庁舎を移築したもので、国の登録有形文化財（建造物）として認められています。特別解説ツアーでは本学出身の学芸員が、その見どころをお伝えします。

ツアーは一日2回、11:00と13:00に開催しています。各回10名様限定となっていますが、本日13:00からの回はまだご参加が可能です。興味のある方はぜひご参加ください。

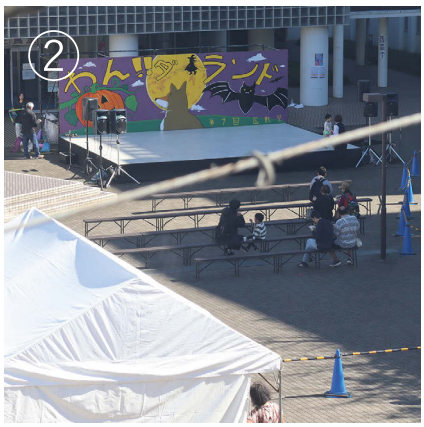
（学芸員 石井）

＃日本獣医生命科学大学 ＃博物館 ＃大学祭 ＃登録有形文化財

■【お知らせ】特別開館＆特別解説ツアーを実施します（10月30日～11月1日）
https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20261005-01.html/
解説ツアーを含む、大学祭期間中の博物館の対応はこちら

■第9回（令和8年度）　医獣祭
https://www.nvlu.ac.jp/campuslife/010.html/
大学祭の詳細はこちら





① 本日午前中に開催した建物ツアーの様子。
② 今年のメインステージ。ちょうど本日はハロウィンということで、ハロウィンの仮装をした来場者もいらっしゃるようです。